

Blender の概要

URL:<https://www.kkaneko.jp/db/cg/index.html>

金子邦彦



- 
- ① Blender を知る
 - ② 自分の成長への貢献
 - ③ 有用性

新たな発見、自己成長、そして高い有用性といった多面でのメリットがあります。

Blender の機能概要



- **3D ビュー**

- テンキーによる**視野操作**や**三面図** (1, 3, 7)

- 右クリックで選択**

- マウスホイールでズーム**

- **オブジェクトモード**

- 移動, コピー／ペースト, 追加, 回転, 拡大・縮小

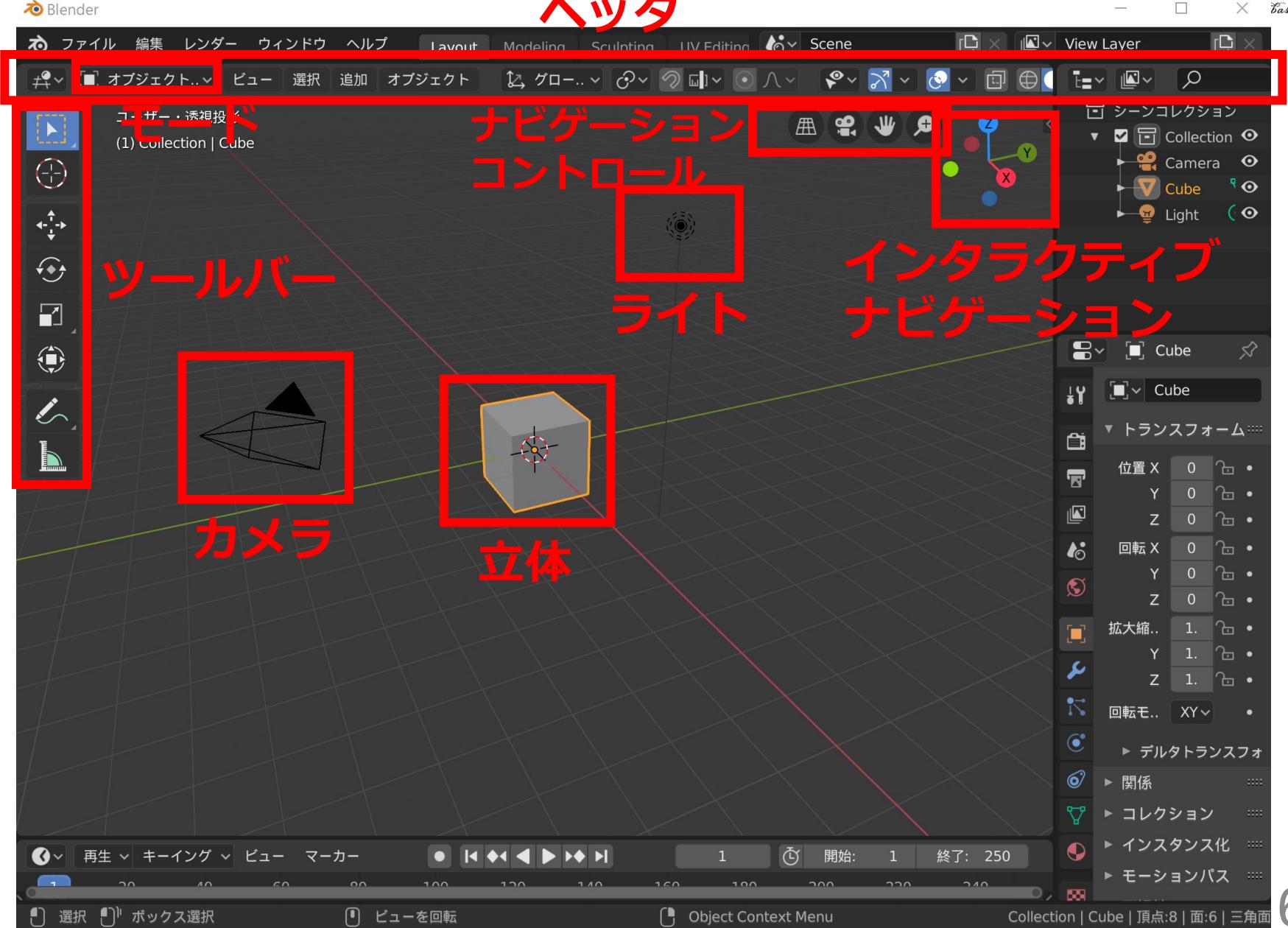
- **プロパティ**

- **レンダリング**

- **エディットモード**

- 3次元コンピュータグラフィックス・アニメーションソフトウェア
- ファイル形式は, Stanford Triangle Format (ply), Wavefront OBJ (obj), 3D Studio Max (3ds), Stereo-Litography (stl) 等に対応.
- Pythonスクリプトによる自動化の機能も

Blender の画面



Blender の画面



Blender フィールド

オブジェクト... ビュー 選択 追加 オブジェクト グロー... ビューを回転 Object Context Menu

Scene View Layer

Collection | Cube | 頂点:8 | 面:6 | 三角面

ユーザー・透視投影
(1) Collection | Cube

位置:
X: 0m
Y: 0m
Z: 0m

回転:
X: 0°
Y: 0°
Z: 0°

XYZ オイラー角

拡大縮小:
X: 1.000
Y: 1.000
Z: 1.000

寸法:
X: 2m
Y: 2m
Z: 2m

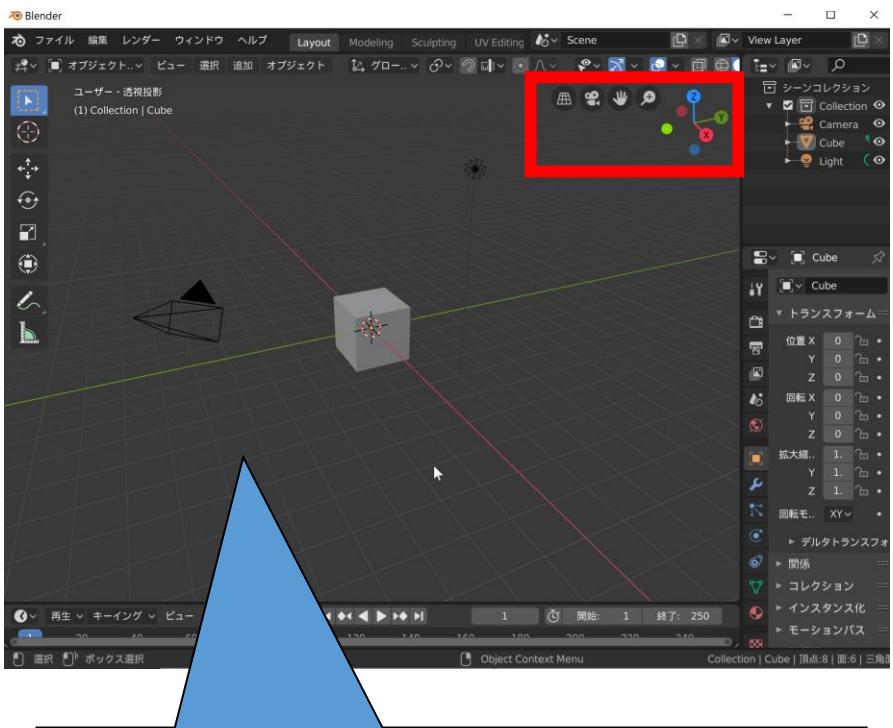
プロパティ サイドバー
※ 表示, 非表示は N キー

再生 キーリング ビュー マーカー 1 160 180 200 220 240 開始: 1 終了: 250

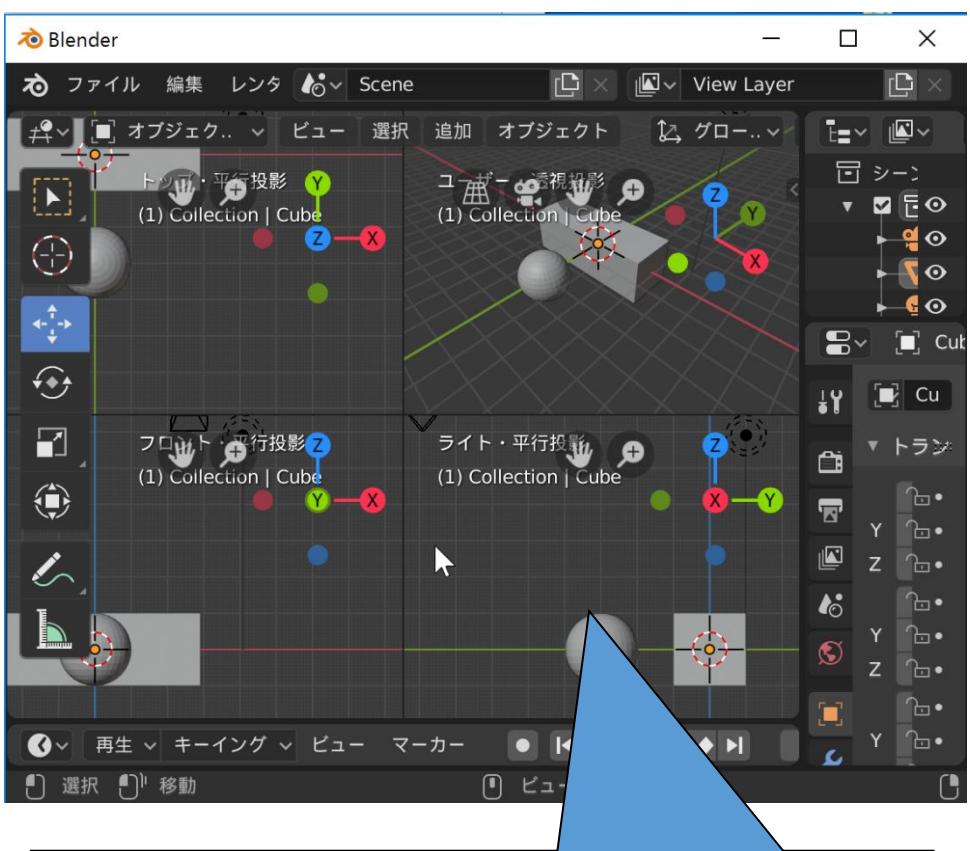
選択 ボックス選択 ビューを回転 Object Context Menu Collection | Cube | 頂点:8 | 面:6 | 三角面

Collection | Cube | Camera | Cube | Light

Blender の 3D ビュー



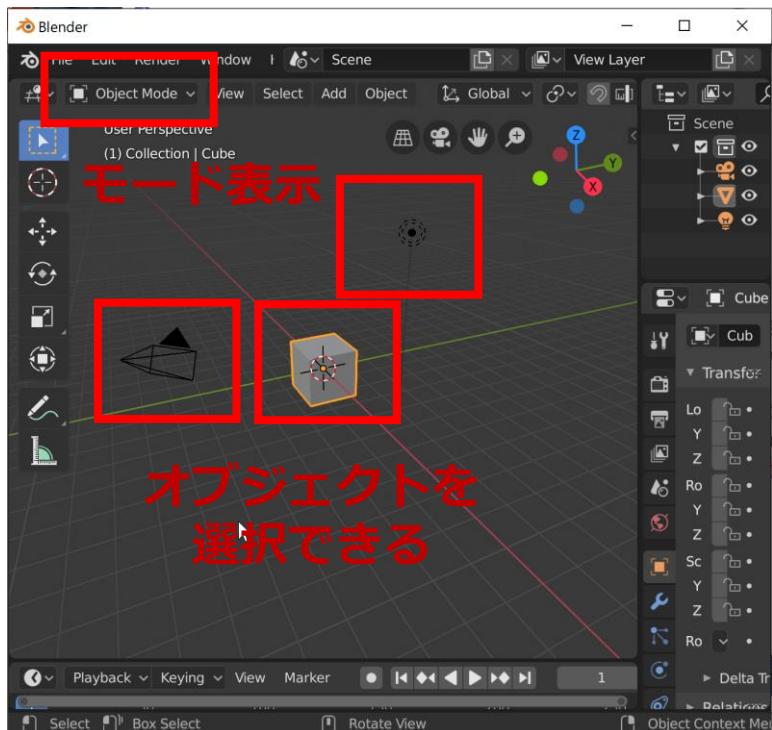
- ・テンキーによる視点操作
- ・マウスホイールによるズーム
- ・マウス操作
- ・ナビゲーションコントロール、
インタラクティブナビゲーションによる操作



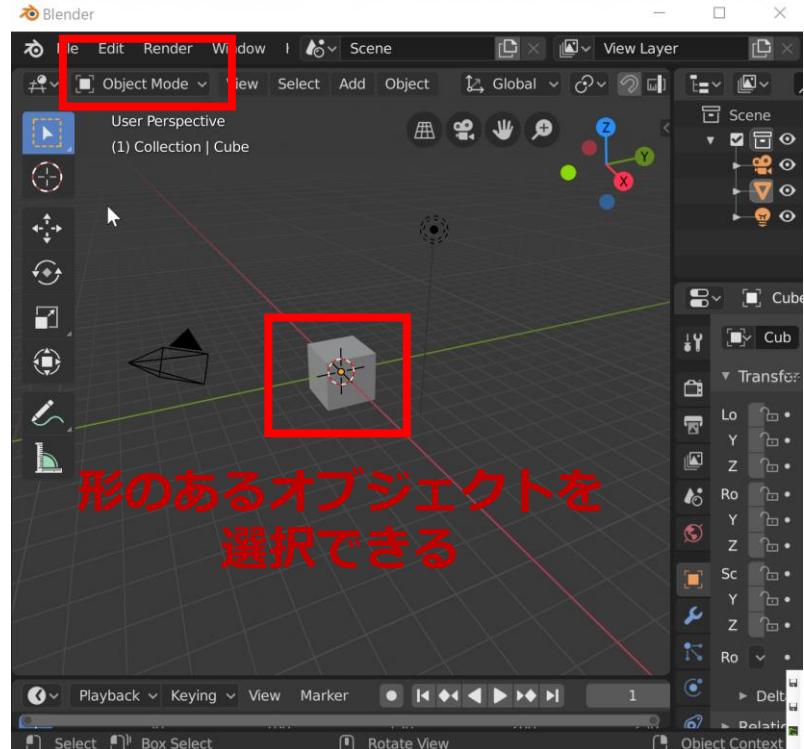
- ・画面分割
(3D ビューの画面端で Split Area)
 - ・テンキーの 1, 3, 7 で三面図
 - ・「画面の4分割」のモードへの切り替えは、[CTRL] [ALT] Q (元に戻すのと同じ操作)



Blender の オブジェクトモードとエディットモード

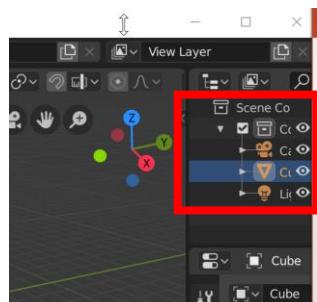


モード
切り替えは
Tab キー



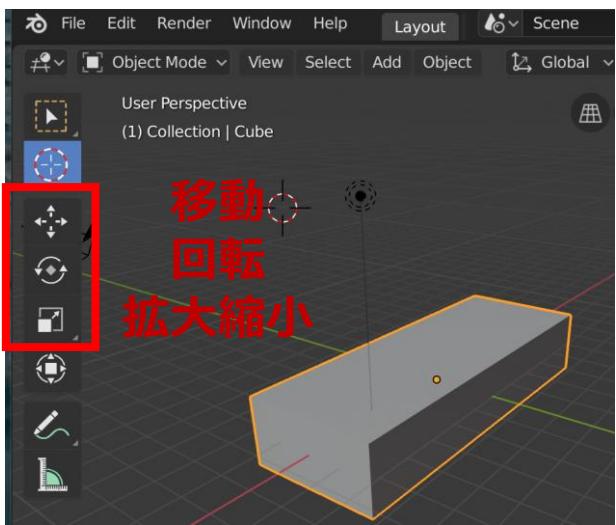
エディット（編集）モード
オブジェクトの形の編集
※ オブジェクトの選択は左クリック

オブジェクトモード
オブジェクトの移動、回転、拡大・縮小
※ オブジェクトの選択は左クリック

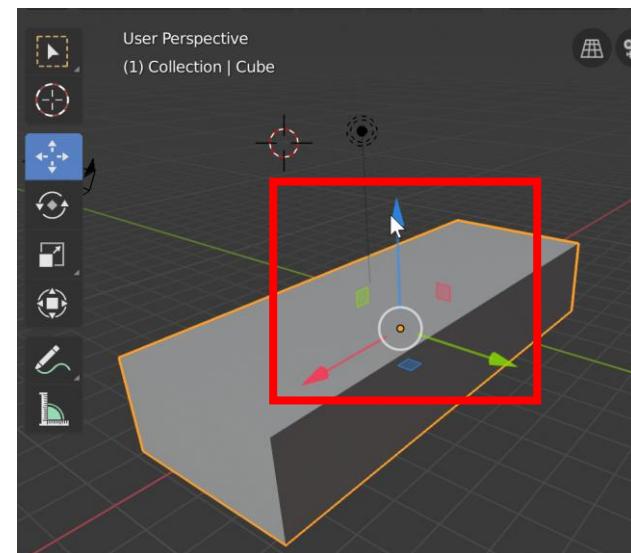


オブジェクトの選択は、
右上の「アウトライナー」
でも簡単にできる

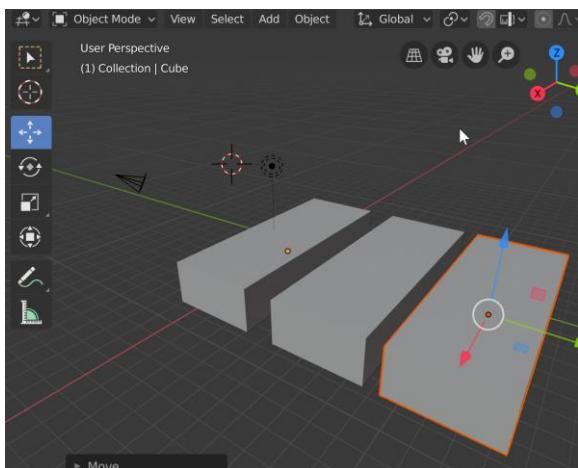
オブジェクトモードでの操作例



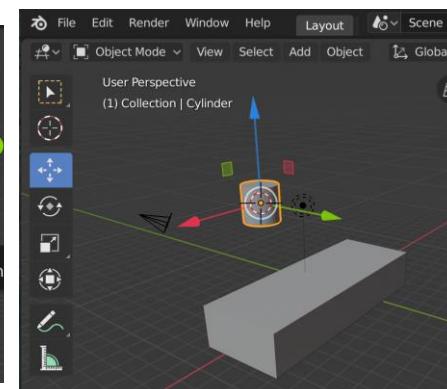
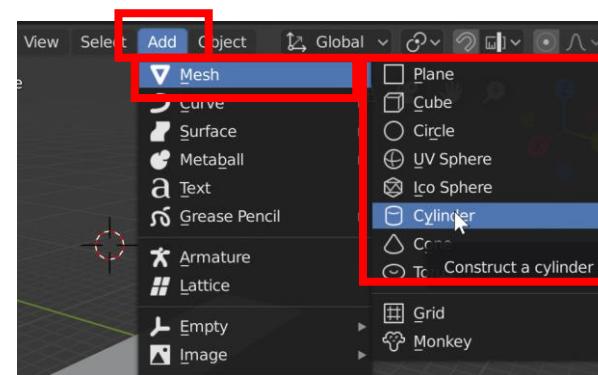
オブジェクトモードで、
オブジェクトの移動、回転、拡大縮小



移動では、座標軸クリックにより
座標軸方向限定の移動も可能

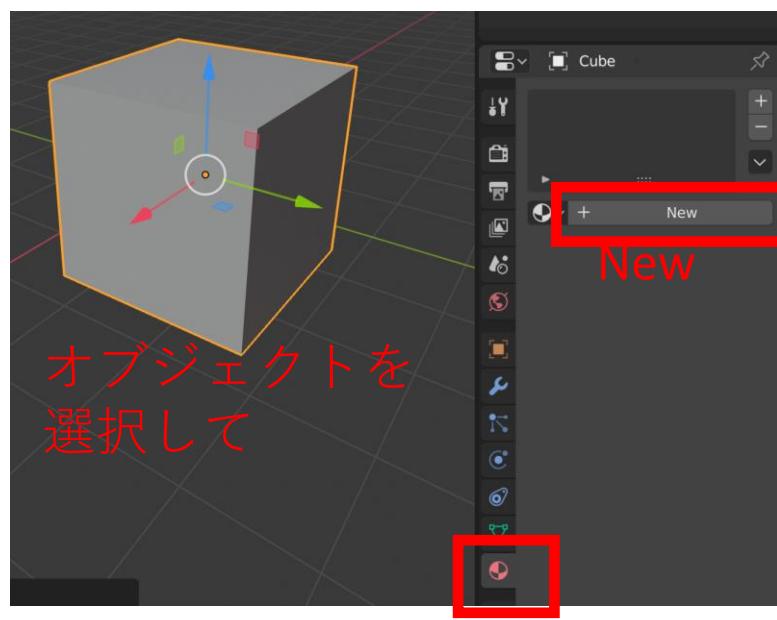


CTRL + C, CTRL + V
でオブジェクトのコピー、ペースト

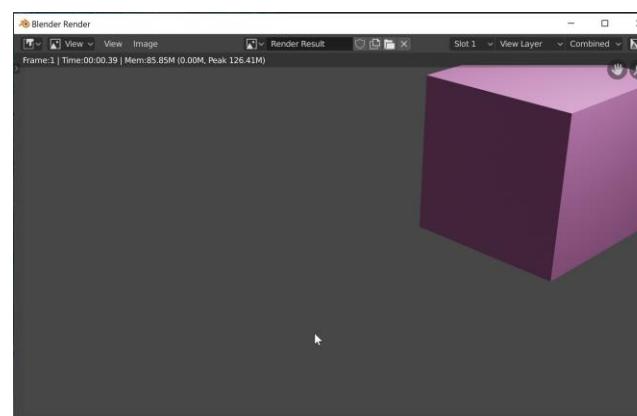


メッシュオブジェクト追加
・「Add」→「Mesh」
・キーボードで SHIFT + A

オブジェクトのマテリアルの設定

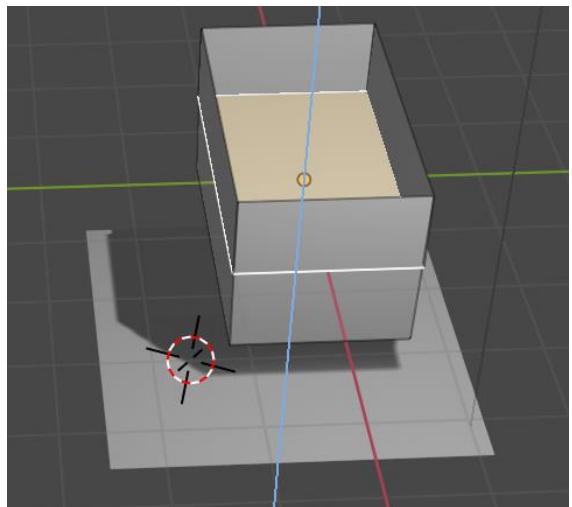


のところをクリック

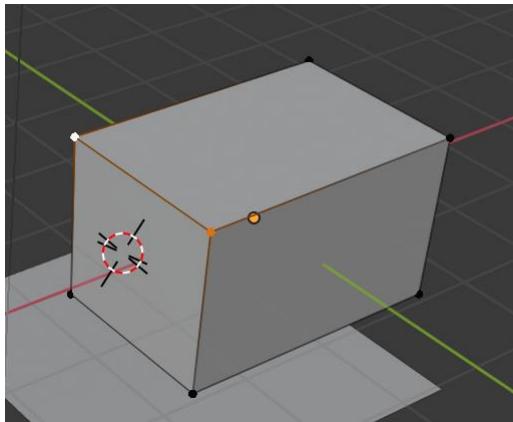


オブジェクトの形状変更

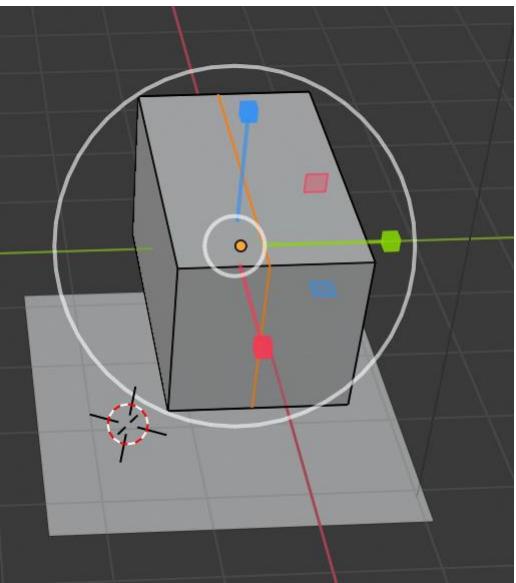
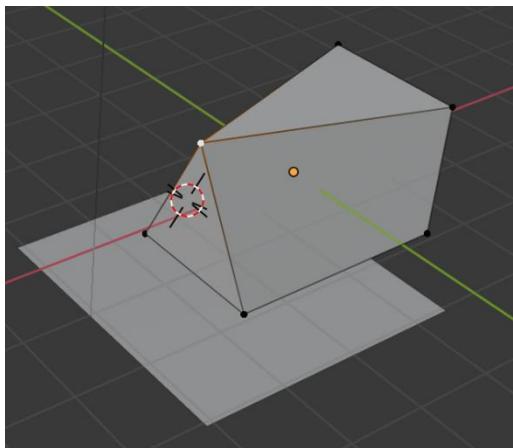
頂点, 辺, 面の押し出しやマージ, ループカットなど



面の押し出し



マージ前と後



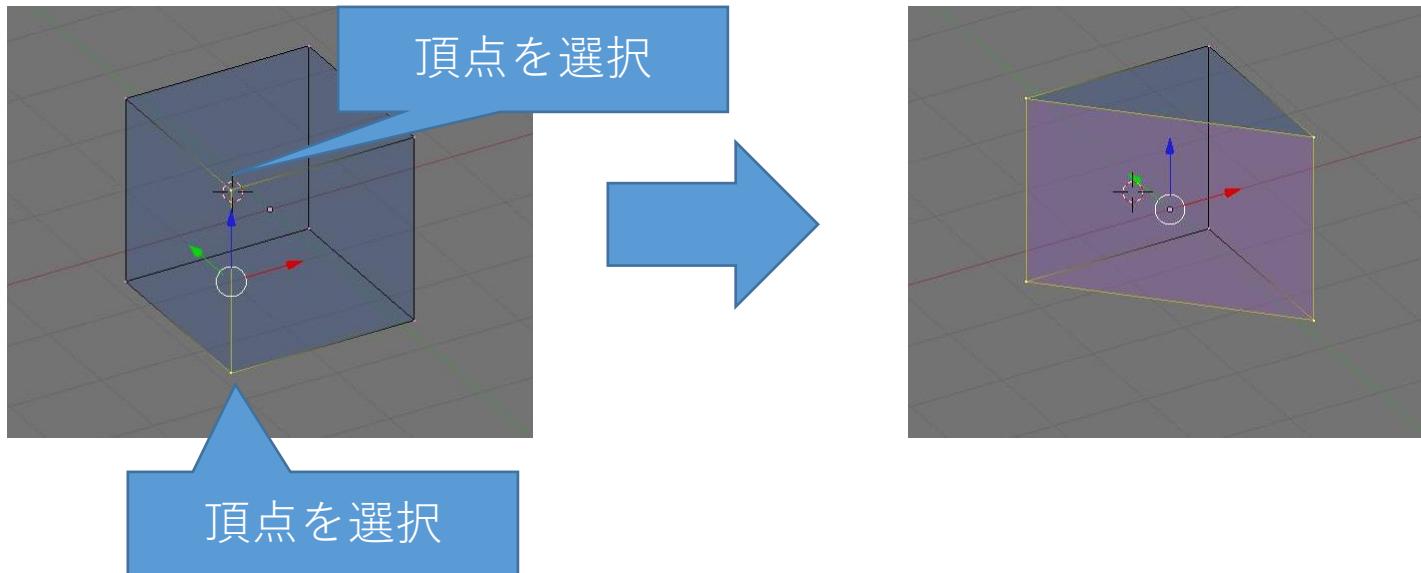
ループカット操作

オブジェクトの形状変更



立方体から三角柱を作る

1. **エディットモード（編集モード）** で消したい頂点を選択
2. Delete→Edge Loop



全体まとめ



基本機能

- 3D ビュー: テンキーで視野操作、右クリックで選択、マウスホイールでズーム。
- オブジェクトモード: オブジェクトの移動、コピー／ペースト、追加、回転、拡大・縮小。
- エディットモード: オブジェクトの形状を編集。
- プロパティ、レンダリング: 色やマテリアルを設定、最終出力を生成。

ファイル形式とスクリプト

- 対応ファイル形式: Stanford Triangle Format (ply), Wavefront OBJ (obj), 3D Studio Max (3ds), Stereolithography (stl) など。
- Pythonスクリプトによる自動化も可能。

ユーザインターフェース

- メニュー、アウトライナー、3Dビューポート、プロパティ、タイムラインが主要なUIコンポーネント。
- サイドバー: Nキーで表示・非表示。

オブジェクトとエディットモード

- オブジェクトモードで基本操作（移動、回転、拡大縮小）。
- エディットモードで形状変更（頂点、辺、面の編集）。

形状変更

- 頂点、辺、面の押し出し、マージ、ループカットなどが可能。

① Blender を知る

Blenderを練習することで、3Dモデリング、アニメーション、レンダリングなどの幅広い分野の新しいスキルや知識を獲得できます。ここで得た知識やスキルは、さまざまなクリエイティブなプロジェクトやアイデアに応用可能です。

② 自分の成長への貢献

Blenderは多機能かつ高度なソフトウェアです。その機能を使いながら、自分の思い通りの作品の作成に挑戦することは、時間と努力を必要とします。このように時間と努力をかけることで、課題解決能力、学ぶ力、想像力の向上につながります。

③ 有用性

Blenderは広く使用されています。そのスキルは高い有用性を持っています。また、多数のファイルフォーマットに対応しており、他の関連するアプリケーションとの連携も可能です。

新たな発見、自己成長、そして高い有用性といった多方面でのメリットがあります。